

みなさんのご協力ありがとうございました

山岳・剣道とも栃木が総合優勝

第三十五回国民体育大会終る

第三十五回国民体育大会秋季大会は「のびる力 むすぶ心 ひらくあした」のスローガンのもとに、十月十二日から十七日までの六日間県内六十九会場で熱戦が展開され、その結果、栃木県選手団は各種目に活躍、天皇・皇后両杯を獲得しました。

日光では、山岳競技と剣道競技の二種目が行われました。山岳競技は、十月十二日午後五時から総合会館で、役員、選手、競技関係者約七百五十人が参加して開始式を行い、翌十三日早朝から、女峰山、奥白根山、太郎山などの日光連山を舞台に縦走と踏査

競技を、また、赤岩滝では登攀競技を行い、四日間にわたって「技と力」を競いました。この山岳競技では、栃木県チームは、チームワークの良さと、日ごろの訓練を十分発揮し、成年男子、成年女子、少年男子の三種目に優勝。総合でも優勝を飾りました。

た。

日光市体育館を会場にして行われた剣道競技は、十三日午前九時から開始式を行い、十五日までの三日間にわたって各試合に熱戦を展開しました。その結果、成年男子は準々決勝で佐賀県に惜敗しましたが、少年男子では見事優勝し、総合でも優勝を獲得しました。両種目の総合成績は、次のとおりです。

- 〔山岳競技〕 優勝 栃木県 準優勝 長野県 三位 岩手県
- 〔剣道競技〕 優勝 栃木県 準優勝 埼玉県 三位 佐賀県

「浦安の舞」と

「子供強飯式」を披露

十四日、剣道競技少年男子表彰式のあと、日光東照宮の「浦安の舞」が、また、十七日には総合会館で七里生岡神社の「子供強飯式」が披露され、選手たちを喜ばせました。

「びわこ国体」での

再会を約束して

すべての競技が終了した十五日の体育館と十七日の総合会館前広場では、大会の疲れも忘れ、各県の選手たちは、仲よく記念写真を撮る光景があちこちで見られ、四日間にわたって熱戦をくりひろげた競技の健闘を讃え合い、来年滋賀県で行われる「びわこ国体」での再会を誓っていました。

お礼のことば 国体を終って

日光市が会場地となった第35回国民体育大会秋季大会剣道・山岳競技会の開催に際しましては、大会期間中はもとより、一年余にわたる諸準備等に各関係機関、団体ならびに市民各位のひときかたならぬご支援、ご協力をいただき、その総力の結果で、大会を盛会のうちにとどこおりなく終了することができましたことを、厚くお礼申しあげます。

今次国体の開催を機に、数多くのものを得ましたが、特に施設面では体育館、登山道、山小屋の整備という大きな財産を得ました。

これらの施設は、市民各位が大いに利用し、生活していくうえでの伴侶ともいえる体育、スポーツの振興をはかっていたらと同時に、市民一人一人が健康という財産をからだに蓄え、そして、より明るく豊かな市民生活を築かれ、今後の市勢発展に寄与していただきたいと考えています。

国体終了にあたり、重ねて市民各位のご協力に感謝し、ご挨拶いたします。

第35回国民体育大会

日光市実行委員会会長 星野仁十郎

常陸宮殿下

同妃殿下ご来見

この国体の期間中の十五日午後には、常陸宮殿下、常陸宮妃殿下が、市民の熱烈な歓迎の中、剣道競技会場の体育館にご来場になり、剣道競技の熱戦をご覧になりました。

翌十六日には、安良沢小学校で行われた山岳競技のスタート会場においてになり、鳴虫山を舞台にした踏査競技に出発する選手を励まされました。

約千五百人の役員、選手をお迎えして行われたこの国体の山岳競技と剣道競技が盛大に、しかも、無事に終了したことは、全市民が一丸となって協力した結果であり、ここに、四日間の大会をふりかえり、その模様を写真でお知らせし、ご協力いただいた方々への報告とします。